

126号
Winter

冬
孫
子
老



全国まごころケアネット



樹氷

CONTENTS

卷頭言　あけましておめでとひざります

1

介護の歴史を振り返って

2～3

まごころケアサービス　—地域ケアの実践—

4～13

孫子老だより　—健康管理はユーモアと笑いで—

14～16

あけまして おめでとうございます



特定非営利活動法人
日本ケアシステム協会
会長 兼間 道子



日本ケアシステム協会は、「愛・忍耐・技術」を理念に、いつでも、どこへでも、誰にもモットーに、平成元年に設立。母体は香川県老人福祉問題研究会（現長寿社会支援協会まごころサービス高松センター（昭和54年準備会57年発足）で35年の歳月が経過しました。これまで概ね約41000名の会員が全国各センターにおいて助け合い活動を構築提供してまいりました。巨大なセンターも小さな拠点センターもそれぞれに地域の必要に応じて、具体的実践を率先して着手し、数々の法制へ影響を与えた栄えあるN P O 法人だと評価されます。

我が国の介護問題は日々変貌をつづけ、昨今、介護保険改革の時期で厚労省も積極的に地域へ出向いて説明会等開催しております。介護認定のうち支援（1及び2）を介護保険財源から切り離す方向へと整備推進です。日本の人口減少に歯止めがかかりません。何処で誰がどのように介護及び終末を担うのか、成長著しいアジア各国がグローバル化に突き進んで、日本の経済や社会のグローバル化が進むことは必至です。ないがしろにすべきでないのは、人は生きて死ぬという確実で重要な事項を忘れ後回しにしてはいけません。

さて、団塊の世代のチャレンジ精神を借りたいと考えています。援助を必要とする方へ元気な高齢者が助け合うという古くて新しい組織化です。文化や価値観が同じ世代らで互いに助け合うシステムです。元気なタフで逞しい「前向きな高齢人材」が介護界にも求められています。わが国の老後問題を乗り切るには「前向きな高齢人材」の知力、体力そして心ばかりの寄付を提供ください。団塊の世代らが築き上げてきた、さまざまな人的資源を有効に活用（提供）させていただければ、これからの中高齢化を乗り切れるかもしれません。

我が国の高齢化社会が調和のある平和な社会として発展するために、日本ケアシステム協会はその未来創造に貢献する団体であり続けたいと考えます。そのために、現状に甘んずることなく、社会貢献の一層の高度化に全力で取り組みたいと思います。会員皆様におかれましては平安な日々が続きますように謹んで祈っています。

介護の歴史を振り返つて



ヨシオカ マサコ
吉岡 真砂子さん

特別寄稿



昭三十八年老人福祉法が制定され、老人ホームの体系が新しくなり「養老院」から「特別養護老人ホーム」となり、介護という言葉が誕生しました。特別養護老人ホームで高齢者のお世話を誰がするか入所者はなんらかの病気や障害のある人だけに従来の寮母的仕事とは異なります。高齢者や障害に対して行つてい る、いわゆる「身の回りの世

話」が「介護」という概念で呼ばれるようになりました。

介護の「介」と看護の「護」を取り「介護」という言葉が造られて五十年近くになります。そしてお世話を人を「介護者」「介護」と呼ぶようになり、「介護」は素人でよいという考え方で始まつたと言われています。

ねと、高齢化社会進行に伴い障害高齢者の介護ニーズの高まりと言った社会的要請から介護業務の専門性が要求されるようになつて来ました。

質の高い介護サービスを確保するために介護の専門化、すなわち専門的知識や技術を習得した人が介護実践を行うことの必要性が認められ昭和62年「社会福祉士及び介護福祉法」が成立しています。

以後、ホームヘルパー一級・二級・三級という養成研

修が行われ、地域でのホームヘルパー活動の実践の積み重

《現職》
ホームヘルパー実習指導者（看護士）



《略歴》
国際医療福祉大学卒業
介護支援専門員
株式会社ベスト専門介護員2級養成研修
四国中央医療福祉総合学員
プログレス株式会社

特別寄稿「介護の歴史を振り返って」



介護の専門的従事者である「介護福祉士」として専門的資格が付与されることになりました。実務経験三年・学科・実技試験に合格し付与され、二十五年経過し、平成二十四年には登録数百万人を超えていました。

介護は、新たに専門化された領域です。しかし、介護は専門の資格がなければ出来ないと言った性質のものではなく今の時代にあっても、まず身近かな家族が、世話にあた



つてることには変わりはありません。

もちろん、職業として、介護の仕事をするには一定の知識と技術をもつていなければなりません。

介護福祉士になるために、すべての者が一定の教育プロセスを経た後、国家試験を受験するという形で現在資格取得方法の一元化が図られています。

実務試験三年以上の人に対しては、「実務者研修」四百

1. ありがとうございます
2. よかつたね
3. よかっただね
4. お願ひします
5. 助かつたわ

五十時間の受講が義務づけられました。私は、国が行うホームヘルパー実技指導者講習会を受講し、ヘルパー養成に長年かかわってきました。受講された方達が、介護福祉士の道へ挑戦され国家資格を取得されて夫々の職場で頑張つて大切な役割を果たして下さっていることに、心から感謝しています。

介護という仕事は、大変な仕事だと思います。最後に人を相手の仕事は、コミュニケーションが非常に大切だと思います。

そこで、コミュニケーションをよくするために、是非使ってほしい言葉五つを紹介します。

1. ありがとうございます
2. よかっただね
3. よかっただね
4. お願ひします
5. 助かつたわ



心よいケアをして頂きたいと切に願っています。

まごころケアアサリビス

地域ケアの実践

さまざまな
必要な
みたす

A ぼけで寝たきり

寝たきりで、ぼけも出てい
るD子さん（90歳）を、昼間は、
協力会員佐々木安子さんがお
世話にでかけている。

持っていた二軒の家を生活
のために手離してしまい、今
は市営住宅に住んでいる。
「母にうまいもんを食べさせし
てやるんだ」と、自分で料理を
する。おおらかで、やさしい。

夕方からは、ひとり息子の
Eさんが、勤めから帰つて交
代する。Eさんは六十一歳
で、短気を起こさず、根

氣よく話しかける。スプーン
で食べさせ、そして、おむつ替

えから清拭と面倒がる様子も
ない。

看護師資格を持つ佐々木さ
んが、床ずれにならないよう
に気をつけ、体位交換やマッ
サージをこまごまと教えこ
む。

ある日、佐々木さんが訪問
すると、Eさんがおむつを手
洗いしていた。四国では冬で
もめつたにみられない雪の日
だった。Eさんは、舞い落ちる
雪も目に入らないのか、ポリ
バケツに手を突っ込んで、勢
いよく洗い物をしていた。



縁談断わり母の世話

夕方からは、ひとり息子の
Eさんが、勤めから帰つて交
代する。Eさんは六十一歳

佐々木さんに気づいて、
「あつ、おいでてくれとりまし
たんか」と応じながら、小走り
に、D子さんの枕元へ。

病院行きが成功

「おむつが乾かんで困つとる」
「少しお金がかかるけど、紙お
むつにしてみるかあ」

まごころケアサービスと連
携している介護用品会社にも
連絡した。さつそく配達して
くれ、使い方の説明も聞いた。
その会社は、在宅の介護用品
に手を広げたところだ。



D子さんは、佐々木さんの
言うことなら、大方聞きいれ
る。佐々木さんの対応の仕方
が上手だからである。佐々木
さんは、治らないぼけを、治ら
ない今まで受けいれる。
「こんなにまでやつてあげて
いるのに相手に通じない」と
怒つたりしない。ぼけといつ
ても、一人ひとり症状が違う
ことを、よく心得てる佐々木
さんだ。

D子さんがぼけはじめて、
変だぞ、と感じた時、佐々木さ
んは精神科で看てもらう必要
を感じたが、すぐには言わな
かつた。

「腰が痛うてたまらん」とD子
さんが訴えた機会をのがさず
に、

一度、病院で検査してもらお
う」と誘い、病院行きが成功し
た。精神科を神経痛と勘違い
したらしい。

ぼけたかなと思われる老人
には、早期の診断が大切で、軽
い時期に治療すると、かなり
改善がみられる。

廊下からトイレの間までポ
タポタと落とすんです。気い
つけて早めにトイレに連れて
行きますが、布団がジトジト
になることが増えました。日
増しに失禁の回数が多くなつ
て」と訴え、くわえて、

「きのうの夜中、うわごとで、
ごめんなあ、すまんがのうと
言つたんです。正常に戻つた
のかとビックリしました」

うつむいて黙つたかと思う
と、大つぶの涙がポタポタ。鼻
をすりながら、

「母が不憫でたまりません」と
また泣く。いざとなると、女よ
りも男のほうが優しいのか。
すべてがD子さん中心に動
いている。佐々木さんの援助
で、リズムが保たれているよ
うだ。

B ケアマネージャー さんと一緒に

Fさんは、七十七歳で、ひと
り暮らしだ。ケアマネージャ
ーさんの連絡を受けて、サー
ビスを開始した。

Fさんは昔、建設省に勤め
た役人さんで、業務中に転落
事故にあって、歩けなくなり、
勤めを辞めたらしい。一級障
害認定者である。妻を広島の
原爆で失い、二度目の奥さん
も四年前に脳卒中で亡くなり
た。東大卒で大蔵省に勤める
一人むすこが東京に住む。

介護保険のヘルパーさんが
週二回出かけて、買物、洗濯、
掃除など日常生活援助を続け
ているが、「週二回では困る」
というので、まごころケアサ
ービスに頼んできたわけだ。
「介護保険でのサービスは、週
二回しか訪問できんけん、あ
とヨロシク」とケアマネから。

工夫して日常生活

Fさんは、歩行は無理だが、いざつて移動するには上手だ。立たずに済むように高い所に物を置かない工夫した暮らし方をしている。

正面玄関横のくぐりをぬけると、カラランカラランと音がする。戸を閉めるとまた、カラランカラランと音色がさわやかだ。

「おはようございます」協力会員の西谷綾子さんと小笠原昭子さん。「一人そろつて呼んでみるが返事がない。

「ごめんください、失礼します」靴をぬぎかけると奥から、「どうぞお」と少し啖がからんだ声がした。

玄関をあがると、居間があり、尿が満たんのしびんが枕元にあつた。しばらく世間話を花を咲かせて、

「お困りのことは何ですか」と、座り込んで、耳を傾ける。

「買物に困る」「ほかには」

保険屋さんと保険婦さん

「医者には行きたくない」をくりかえす。次回の訪問日を知らせたあと、日報に詳しく記



録し、ケアマネージャーさんの訪問の必要を書き加えておいた。

火、木曜日にヘルパーさんが訪問してくれるから、月水

金土日をまごころサービスの

協力会員が担うことになる。

次の日、事務所の電話のベルが鳴った。

「ホケンヤさんがやつてきた。

頼んでないので断つてくれ」とFさんからだ。

「ホケンヤさんって何のこと?」。どうも、保険屋と保健婦と間違っているらしい。ま

ごころケアサービスから市保健指導課に依頼したことを説

明した。

「眼の具合が気になりましたし、血圧を計つてもらうなど

保健相談、指導を受けてください

「なんば払うんぞ」

「費用は要りません」とたんに納得した。Fさんは介護保険でのホームヘルプ制度利用及び、まごころサービスの

で、月に合計五万四千円の負担だ。

ところでケアマネージャー

さんの業務は、てんてこまいは日常的だと聞く。高松市ではケアマネージャーさんを非常勤一年雇用で採用しているほか関係機関からの出向など、その経験を生かしてプライマリー・ヘルスケアの実践をしている。十年前、

「ねたきりで失禁のひどい老人がおります」と連絡しても、即応してもらえたかった。そ

の頃と比べると、少しずつよくなってきた。だが、これで十





看てもらう」と応じたらしい。
ケアマネージャーさんで専門

職の言うことなら聞こうと、
Fさんの気持ちが動いたとい
うのである。

Fさんから事務所に
「放つ」といたら失明すると、医
者にいわれた。ありがとうござ
いました」とのこと。失明す
るほど悪い病気だと気付い
ていなかつた。

分だとは言えまい。老年人口
は増す一方だ。
「予算がないんで」と簡単にか
たづけてもらつては困る。予
算がない中で、誰のために、何
をどう改善し、サービス提供
していくかを、新たな方式を
組みいれるなど機関をまじえ
て、共に考えていいきたい。

「Fさんを車いすで眼科に連
れて行つてきました」と協力
会員さんからの報告。ケアマ
ネージャーさんが
「トラコーマかもしれません
ぞ」と言つただけで、「医者で

G子さんは昔、自営で文房
具屋をやつてきた。夫と子供
二人の平和な暮らしだつた
が、長男が中学三年で精神障
害と診断されて、夫の態度が
変わつた。調停離婚。それ以
後、女手一つで子供を育てた
苦労人である。長男は四十二
歳、同居している。

「こんなに早くからああ嫌だ
と思うことがある。けど、朝日
をあびてしばらく仕事をする
と気分が変わつて、人様の世
話させてもらつて、自分の健
康にもいいんだとルンルン気
分になつてくる」と小笠原さ
んは言う。

C 老人ホームへ

G子さんは、八十七歳で、ひ
とり暮らし。ねたり起きたり
の暮らしになつて四年経つ。
九カ月前に、民生委員さんか
ら連絡があつてサービス開始。

G子さんは昔、自営で文房
具屋をやつてきた。夫と子供
二人の平和な暮らしだつた
が、長男が中学三年で精神障
害と診断されて、夫の態度が
変わつた。調停離婚。それ以
後、女手一つで子供を育てた
苦労人である。長男は四十二
歳、同居している。

と、G子さんから申し出られ
た。利用料千円が払えないと
いうのが理由である。うかつ
であつた。G子さんは障害の
ある長男をかかえ、働けない
から、当然、介護保険利用のヘ
ルプ制度が低額一割負担で受
けられるはずなのに。もつと
早く気付くべきだつた。

さっそく、民生委員さんと
ケアマネージャーに連絡をと
り、ヘルパー派遣申請の手続
きをお願いした。



ヘルパー派遣を申請

「心配ことは?」と聴くと、し
ばらく黙つて
「むすことのこと。うちが死んだ
らどうなるやろか」と涙ぐむ。

ある日のこと

「週に一ぺんにしてほしい」

次の週には、ヘルパーさんが来てくれた。

G子さんの要求に応じようと、協力会員の川村輝子さんは意気込んだ。川村さんは器用で有能だから、彼女に頼めば大方のことは出来てしまふ、と誰でも認めるマルチ人間である。

ただし、川村さんは別の話だが、一般的に、ヘルパーひとりが何でも抱えこむのは、かならずしもよいことばかりではない。

老人中心に、バームクーヘンみたいに、人びとが何重も

かさなりあうことが援助の基本だ。老人のお世話を吹奏楽隊にたとえれば、それぞれの特徴を生かしてこそ、ハーモニーが盛りあがる。自分の出来ることが出来ないことを、きちんと整理し、役割の一部を担うことが大切だ。

二十四時間ケアが必要

さて、民生委員さんの世話で、ヘルパーさんが週二回、あと一日を協力会員が受け持つことで再出発。

去年の夏。わりと元気だったG子さんが、暑さにやられてねたきりになつた。夏の酷暑で、全く立てなくなり、食事の用意にまず困つた。

まごころケアサービスが提供する「まごころ弁当」を配達することにした。日曜祝日なしでお弁当を届けた。寝たきり状態は一向に好転しない。

やがて二十四時間ケアが必要となつた。協力会員の川村さんは大ハッスル。G子さん



Hさんは、七十九歳、奥さん

口 ふろに入りたい



自宅で入浴は無理

Hさんは本人から連絡があり、まごころサービスが始まつた。大のふろ好きなHさんは、「ふろにいれてもらいたい」とのこと。さつそく協力会員近藤よりこさんが出向く。ねたきりのHさんが、汚れた布団を足元にまるめて、アイスクリームを食べていた。

玄関を開けたとたん、汚れ放題の室内に驚く。近藤さんが、

と同じ歳。六階建てマンションの最上階で、二人で暮らしている。八人の子供が独立して、近くに住む。

Hさんは二年前、脳卒中で倒れてねたきりとなり、左片麻痺で言語障害がある。マンションの五階までをテナント

で貸している。奥さんは、かろ

うじて夫の面倒をみているが、三度の食事の世話だけで手一杯だという。

自宅で入浴は無理

Hさんは本人から連絡があり、まごころサービスが始まつた。大のふろ好きなHさんは、

「ふろにいれてもらいたい」とのこと。さつそく協力会員近藤よりこさんが出向く。ねたきりのHさんが、汚れた布団を足元にまるめて、アイスクリームを食べていた。

「入浴の世話をまいましたよ」と声をかけると、「私をふろに入れてくれるんかい」とHさんは喜ぶ。

ところが、ふろ場は半間ほどで、介助できるスペースはない。

「私につかまつたら歩けますか?」と問う。歩けないといふ。Hさんを抱いて浴室に運んだとしても、身動き出来ない。

「私が手伝いますから」と奥さんが言うが、ヨロヨロしていて、とても無理。

結局、ねたきりのHさんをおふろにいれるのは、この状態では無理と判断。

移動入浴車

二日後、

「Hさんをふろに入れてやつてくれ」と市会議員さんが言つてきた。現場の状況から無理だと説明すると、「私は議員の○○だ」と言う。

「いくら議員さんであろうとまごころケアサービスは増無理なものは無理です」。力ちんときたのか声もとげとげしい。温和がとりえの事務局スタッフが怒るのだから、よほど権力をかざしたにちがいない。

そこで、NPO法人が提供している移動入浴サービスにつなぐ。民生委員さんのお宅にもおじやまして、「Hさんがふろにはいりたいと望んでおられます」と、耳にいれでおいた。いざという時に手伝つてもらうためだ。

Hさんに、「おふろ以外で、してもらいたいことはありますか」と再度問う。「ふろにはいりたい。あとは家内がする」と、あくまで入浴のみを希望する。

移動入浴車は月曜から金曜まで、看護婦の谷さん、ホームヘルパーの勝田さん、谷定さん、追矢さんの四人でやつている。五年前にこの事業ができて、ねたきり老人とその家族は大いに喜んだ。要望は増す一方で、月に一度訪問できればいいほうだ。

以上は作業ができない構造上の問題があつた。走行中に湯を入浴車内でわかし、給排水を室内と入浴車をホースでつなぐため、三階は圧力がかかって無理。Hさんも、家にふろがあるのにしぶつていたが、

Hさんは、議員さんに、「誰も面倒みてくれん」と再三訴えていたようだ、「役所は弱者の面倒を何でみないのか」と福祉課に文句をいつてきたそうだ。

ある日、「背中がかゆい。皮膚科に連れて行け。車いすに乗せて、押してくれたら行ける」と、Hさんは命令口調。近所に住む子供たちが寄りつかぬ理由もわかるような気がする。

「こんな身体を動かすなんて危険ですよ。往診してあげたのに。ふろにきちつとはいっていますか。清潔にしていれば皮膚病にはなりません」と注意を受ける。

ああ、しんど。

Hさん、歩けるようになれば、自分でおふろにはいれるよ」と、近藤さんが持ちかけ、週に一度、理学療法士に来てもらうことになった。Hさんが、脳卒中で入院していた時の顔見知りのP.T.だ。健康管理のため、市のケアマネージャーさんにもお願ひした。

特養ホームを利用



Hさんは「いつからおふろにはいれるかいのう」と口ぐせのように言う。これ以上はお手上げだと思案していた矢先に、市の福祉課から連絡が入った。

特別養護老人ホームで入浴させてもらえるという。ホームからHさん宅まで往復一時間半かかる。それでも園の車で迎えに来てくれた。

Hさんがどんなに喜んだか、言うまでもない。

臭でムツとくる。

「洗濯を頼んます」と、さしだされたパンツの山は、小便で黄色に変色しており、フキンもぞうきんもまぎれ込んでいる。

掃除、洗濯、買物、食事の支度と、だいたいの用事が終わると三時間程度だ。聞きとりにくくい言葉も慣れるとしてだいにわかるようになつた。

Iさんの酒は、十七歳で煙草とともに始まつた。小学校を卒業後、就職、軍隊生活の経験もした。敗戦の混乱期には、薬用アルコールをはじめ飲めるものなら何でも飲んだ。

「酒さえ飲まなければいい人なのに」、亡くなつた妻もそういつた。

なんだかんだと理由をつけ飲む。妻が亡くなつてからは、朝から晩まで、ブツブツ言いながら一人で飲んだ。

Iさんは、やがて「足がもつれる」と訴えた。杖を勧めると、「年寄りみたいで嫌じやう」と入院させてもらつた。

と言ひながら、杖を離せなくなつた。しかし、酒の量を増すから、杖があつても用をたさない。タタミのヘリでよろけて、室内で何度も倒れ込んだ。

ある日、また転んでけがをしてしまい、「きょうから酒はやめじや」と宣言したが、口だけで、昼すぎにはもうベロベロだ。

連携病院に入院

これではいけない。

西川さんは、Iさんを病院へ連れていった。九州の息子さんに連絡をいれ、事態を説明しておいた。

アルコール依存症。このままでは廃人になつてしまふ。Iさんは、「入院して治す」と自分から言い出した。さつく、まごころケアサービスの連携病院で、精神科のある病院に頼み込んだ。

Iさんは（70）は、十カ月前に妻を亡くしてひとり暮らし。身のまわりの世話に、週二回、三時間程度、協力会員の西川英子さんが出向いている。

初対面の時、聞いていた年齢よりずっと年老いてみえた。言葉もはつきりせず、反応が遅い。室内がおしつこの悪



Eアルコール依存



西川さんは、「アンタには世話になつてすまんのう」と、はじめて涙がでるようなことを聞かされた。一週間たつて見舞いに行くと、鉄格子にはいつていた。

まごころサービス定例会（事例研究会を毎月行う）で、西川さんから、病院でのIさんの看護方法について、疑問が出された。西川さんは「気の毒」を連発した。

同席の元ソーシャルワーカーIが、

西川さんから、病院でのIさんの看護方法について、疑問が出された。西川さんは「気の毒」を連発した。

赤黒かつたIさんの顔が、色白になり、言葉もしつかりしてきた。

Iさんに苦労させられたこ

とも忘れて、西川さんは「早うようなつて、退院したらええのに」と、あたたかい。

F 民生委員さんと

J子さん（74）は、ひとり暮らし。お雛まつりの日に、J子さん本人からまごころケアサービスを頼んできた。

協力会員木村正子さんが担当と決まった。木村さんは、明るく、行動力のある四十代の

「Iさんにとって、最も有効な回復術は、強制病棟での治療です。いまはお酒を絶たせることが第一なんです」という説明で、西川さんは、ようやく納得したようだ。

「春には退院するから、帰つたらのみます」と見舞うたびに頼まれる。

赤黒かつたIさんの顔が、色白になり、言葉もしつかりしてきた。

Iさんに苦労させられたこ

とも忘れて、西川さんは「早うようなつて、退院したらええのに」と、あたたかい。

美人だ。

小雨の降る中、木村さんは、

J子さん宅を尋ねようと、飛び込んだ家が町内会長宅で、J子さん宅まで同行してくれた。

「ごめんください。鍵がかかってたまま返事がない。三度立寄ったが、不在。再び町内会長さんを尋ね、民生委員さんのご紹介をもらつた。

「どこにも出かけないと想いますよ」と民生委員さんは、J子さんの様子を把握しておら

「奥にいても返事ができんのとちやう？」とのことであつた。

三日も食べずに

民生委員さんは、J子さん宅の雨戸をこじあけてくれた。すると、足を悪くして動けないまま、三日も食事をとらずにうずくまつっていた。寒さで震え、失禁もあつた、室内は足の踏み場がないほど散らかっていた。木村さんは、

「おふろにはいってぬくもう」と用意しかけたが、おふろの湯わかしが故障して、使いものにならなかつた。民生委員さんが、

「修理してもろうときます」とおつしやつてくれた。スーパーでおすしを買ってきて、J子さんをなぐさめ、帰つてきた。

まごころケアサービスが開始するのはこれからだから、この一週間の手間代はない。ここまで業務は通常、コ一





「簡単なことだけしておきました。病院に連れていつたほうがいい」と助言も頂く。

J子さんの病状を主治医に聞くと

「転倒したあと足が不自由。自

内障。パーキンソン病もある。
薬物投与も長期になつていて
ため、これ以上増量するのは
危険です」とのこと。「入院よ

で。 同時に二件、別のケース訪問をかかえていたため、木村さんに頼んだ。資源につなぐ器量と能力があることを見込ん

さて、まごころケアサービス開始である。

J子さん宅を訪問すると、すでに、汚物に塗れた衣類はぬがされ、清潔な寝具に替えられていた。

家の鍵まで預けられる

木村さんは、「二ヶ月を目標に、最大の援助効果をあげてみたい」と、張り切り、意欲に燃えた。

「二ヶ月後にJ子さんが歩いている姿を想像すると、夏雲のように広がる夢と期待感で、ねつかれなかつた」と言つ



た。木村さんは、ネアカ人間だ。日夜勇んで訪問をつづけた。

つた。が、実際につきあつてみるとちがつていた。人の言葉を鵜呑みにせず、事実を確認することの大切さを学んだ。第三者からの予備知識は、確かに重要だが、しかし、事実と違うことも多い。

「本当のことは何もわからな
い」と木村さんは思つた。対象
者には白紙の気持ちで向かう
ことが大切だ。その人をその
ものとして受容することだ。

信頼ぶりだ。木村さんは、まるでピクニックにでも出かけるよう、早朝より訪問。J子さんも木村さんの顔を見るなり、床から上半身を起こして、嬉しそうに迎えた。

近所の人たちは、J子さんに批判的で、悪人呼ばわりだ



嬉しそうに迎えた。

「老人ホームをどう思う」とやんわり切り出す

「養老院は、家がない人の監獄ですよ」と、ムツとした表情。偏見とは思つても、しかし、これ以上つづこんではよくな

この家でひとり暮らしを続

けるよりは、ホーム入所のほうが幸せだと、誰が決められようか。悪臭がただよい、手のつけようがないほど散乱している室内で、三度の食事に困り果てて、なおここがよい、これが終わりを迎えるにふさわしい場だ、というのである。木村さんは、野たれ死のうと、火事が起ころうと、このままがいいというなら、聞きいれることのほうが大切かもしれないとthought。

「独居の老女が死んで一週間後に発見」と新聞報道に心痛めたことがあるが、当事者しかわからない実態がある、ということだ。

木村さんは、J子さんの意志を尊重しながらも、施設に対する考え方を改めてもらう努力を、今も惜しんでいない。

木村さんは、J子さんの意

志を尊重しながらも、施設に

つけようがないほど散乱して

いる室内で、三度の食事に困

Kさん(90)は、ねたきりで食事も自分で出来ない状態だ。

協力会員の仙波ミヨさんが訪問している。仙波さんは香川県訪問看護認定講習会を修了した香川県看護協会の看護婦さんである。開始して三ヶ月経過した頃、マッサージの効果がでて、スプーンが自分で持てるようになつた。座位も出来るようになり、最近、歩行訓練をはじめた。医者の指導もよかつたが、Kさんが仙波さんの指示に従順なので、仙波さんも力が入った。

仙波さんはKさんに、リハビリ訓練で、介助があれば車椅子に乗れるようになつた。

Kさんは、ねたきりで三度連絡・相談だ。

Kさんは、ねたきりで三度

「ほう・れん・そつ」で

「ほう・れん・そつ」で

間看るわけではない。身内の場合はそうはいかんけん。

G リハビリセンターへ

の説得で、Kさんは、やつと、「一度行ってみるわいの」と応じた。施設に通うには送迎バスを用意していることもあ

る。幸い、リハビリ施設がすぐ近くで、ラッキーだった。

仙波さんの強い誘いがなければ、せつかくの施設も、利用せずに終わつたかもしれない。

仙波さんの強い誘いがなけ

れば、せつかくの施設も、利用せずに終わつたかもしれない。

仙波さんは、ばけた義母を見た経験もあり、身内よりも、むしろ、他人を見るほうが楽だ、と言う。

「食事の最中にあべれだし、物を投げつける。昼間は静かだが、夜になると騒ぎたてた。Kさんの面倒を見るのは、一日のうちの何時間で、二十四時

Kさんは、ねたきりで三度連絡・相談だ。

Kさんは、ねたきりで三度

「友だちも出来るようになるから、診断してもらつて利用しようよ」

「いや、ここでやるほうがええ」と行く気はない。ねたきりになれる老人の多くは、リハビリを欠かさなければ、防止できるのに、介護者が手をはぶいて、ねたきりにしてしまうことが多い。仙波さんの何回か



まごころ 孫子老だより

健康管理はユーモアと笑いで

みなさまあけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

おもてなしの倍返し、いつやるの？今でしょ！じえじえじえ。

輪かりましたか？が流行語となつた昨年みなさまお元気でどうか。新年あけましておめでとうござります。紅白歌合戦出場が最後となつたサブちゃんですか“むしろ和田アキコに引退してほしい”と願つているのは私だけではないでしようか？

クリスマスに切り損ねたケーキを「これはお父さんへどうぞ。」と食べさせられ、年末は出汁は讃岐ならではのしつぼくそばを年越しに食べたかと思ひきや、元旦には、誰が始めた？「年明けうどん」を食べ。なおも冷凍庫から去年のもちを引っ張り出し、讃岐の正月はこれだとばかりにあん入り雑煮を食べさせられ愚妻は元旦から料理は面倒だと言い放ち、2日目には家族で回転すし屋へ強制連行「待ち時間1時間です」との案内に「なんでこんなに混んどん？」とさぬき弁で逆切れされ怒りの方向は無実の父へ辛抱をしつけられずに育つてしまつた次男に

マクドナルドへ行けとしぶしぶ運転手。そこも大混雑で結局、家に帰つてばあちゃんのつくつたおせち料理の残りとお歳暮で頂いたハムで飢えをしのぎ、つつ年末からの炭水化物の食べ過ぎで2キロもふとつた家族の不健康さを憂いながら今年も平和な正月だったなど毎年のように思うのでした。

今年もカゼやらインフルエンザやら花粉症やら例年通りやって来ますよ。

最近のニュースは、ストーカー



殺人や脱線事故、徳洲会の金の動きなどせつかく株価も上がり景気の兆しがみえてきたところへとんでもない事件ばかりです。悪いなら悪かつたとできないなら出来ませんとはつきりすればよいのに、どうも往生際が悪い奴ばかりうそつき・無責任・言い訳と見ていてイライラするような人が毎回テレビに登場するので子供の教育上よくありませんね。もう一度、花咲か爺さんの話から勉強してもらつて正直者と嘘つき者の善悪を学んでもらいたいものです。

ビに登場するので子供の教育上よくありませんね。もう一度、花咲か爺さんの話から勉強してもらつて正直者と嘘つき者の善悪を学んでもらいたいものです。

【まごより長生きかぞえうた】

平安時代の数え歌から
尾崎宗園師壇越歌より。

敬老祝い金（例）

77歳1万円

88歳2万円

99歳3万円

もらえますよ長生きしましょう。

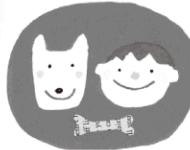
「まごより 長生きかぞえうた」

50 60は、花なら蕾（つぼみ）
70 80は、働きざかり
90 になって迎えが来たら
100歳まで待てと追い返せ。

「き」はながく 「こころ」はまるく 「はら」をたてず

「ひと」は大きく己は小さく

「いのち」はながく 「いのち」はまがし



小肉多菜（青物は体によい）
小塩多酢（塩分控えめ）
小糖多果（甘味は果物で）
小食多囁（囁む事が基本）
小衣多浴（風呂好きOK）
小欲多施（人のために）
小車多歩（歩きましょう）
小怒多笑（怒らず）
小言多行（体を動かす）
小煩多眠（よくねむること）

加納さん作（岐阜県）より転用、
 加筆させて頂きました。

一、年をとつたら でしゃばらず
 憎まれ口に 泣きごとに
 人のかけ口
 愚痴いわす 他人のことは
 ほめなはれ 聞かれりや
 教えてあげてでも
 知つてることも 知らんふ
 り いつでもアホで いる
 こつちや

二、勝つたらあかん 負けなはれ
 いづれお世話になる身な
 ら若いもんには
 花もたせ 一步さがつて
 ゆずるのが 円満（まる
 く）いく コツですわ
 いつも感謝を 忘れずに
 どんなときでも 「ありが
 とう」

三、お金の欲をすてなはれ なん
 ばゼニカネあつても 死ん
 だら持つていけまへん
 「あの人 ええ人やつた」
 そない人から 言われるよう
 生きてるうちに
 バラまいて 山ほど徳を 積み
 なはれ

四、というのは 表向き ほんま
 にゼニを 離さずに 死ぬ
 までしつかり
 持ちなはれ 人にはケチと
 言われても お金があるか
 ら 大事にし
 みんなベンチャラ いうて
 くれる 内緒やけどほんまで
 つせ

五、昔のことは みな忘れ 自慢
 ばなしは しなさんな わ
 しらの時代は もう過ぎた
 なんぼ 頑張り 力んでも
 体がいうこと ききません
 あんたはえらい
 わしゃ あかん そんな気
 持ちでおりなはれ

六、わが子に 孫に 世間さま
 どなたからも 慕われる
 ええ年寄りになりなはれ
 ボケたらあかん そのため
 に 頭の洗濯 生きがいに
 何か一つの趣味
 もつて せいぜい長生き
 しなはれや

執行猶予4年の身でありながら
 帰省もせず大学生になつた長男が
 今だに連絡がありません。死んで
 いるのか生きているのかさっぱり
 わかりません、一八年大事に育て
 た愛犬を外で安心して放したら、
 どこかへ行つて帰つてこなくなつ
 た場面を思い出します。糸の切れ
 た糸とも言うのでしょうか？大学
 生の誕生とともに我が家家の経済状
 況も緊縮傾向です。先日、年末ジ
 ャンボを買ったという嫁さんに
 「7億円当たつたら私になんば頂
 けますか？」と聞いたたら、じえじ
 えじえなんと「百円！」だそうです。結婚20年目を迎える夫婦です
 が 金の話は甘くないです。



「孫から小っさい話」

私はボケておりまへんという方へなぞなぞです。(答えはこのページの下)

①気温40度でにぎわった四国の地域はどこでしよう

②日本で昨年、世界遺産になつたのはどこでしよう

③ピーマンの頭は五角形と六角形があり六角形の方が甘い○か×か?

④今年、吉永小百合は69歳、橋幸夫は71歳である○か×か?

⑤宅配便よりゆうばっくの方が米を送るなら安い○か×か?

⑥振り込めサギで振り込んだお金が返つてくる制度がある○か×か?



「孫の健康コラム」

孫から川柳

私の健康法は「医者に行くことです」と言つたお客様がおられましたが お笑い川柳で暑さを吹き飛ばしましょう。(夫婦の日川柳・第一生命サラリーマン川柳より)

黒豆ダイエット酵素粒・ダイエットこんにゃく・やくダイエットと修行を積んできましたがお前は、三日坊主だと破門宣告され現在は「食べ物順タイエット」を実践中です 2週間で約3kg痩せました。費用や手間がかかりませんやり方は簡単 単 ①野菜類 ②発酵もの(味噌汁・漬物・納豆など) ③おかず料理(タンパク質) ④炭水化物(ごはんなど)の順番に完食していく食事方法です ③のおかずの時にお腹が8分目になり最後のご飯の量が抑えられるというダイエットです。

・ばあさんは、ボケて日付も忘れるが 医者に行く日は覚えとる

・久ぶり 名が出ないまま じゃあまたね

・ばあさんは、ボケて日付も忘れるが 医者に行く日は覚えとる

・帰宅して フロ、メシよりも犬の餌

・老眼鏡 外せば妻がそれを掛け

・「ごはんよー」と呼ばれないで行けば タマだつた

・何故だろう 僕のタオルは名前入り

・「浮気」原則しない

・チヨット待て まぜるな危険 嫁・姑

・する気もない 浮気に(時効)はない、と心得よ

・妻の目は 防犯カメラを上回る

・今年も元気にいきましょう。ご自愛ください。

・家族旅行 予算削減 パパ留守番

・孫子老太郎

・子が巣立ち 「さあ これか

・留守がいい



- ・定年で 女房出かけて留守がいい
- ・孫の名が 読めない書けない出てこない
- ・久ぶり 名が出ないまま じゃあまたね
- ・「浮気」原則しない
- ・する気もない 浮気に(時効)はない、と心得よ
- ・孫子老太郎

「孫から小っさい話」答え ① 四万十市、② 富士山、③ ○、④ ○、⑤ ○、⑥ ○

<p>介護保険業務の 様々なご要望にお答えします</p>	<p>はじめまして まいとうんメール便 です</p> <p>0120-800-263 南タウンネット</p> <p>高松メールセンターからのご案内</p> <p>メール便… ハガキ 封書 カタログ など</p> <p>激安価格で 配達します</p> <p>お問い合わせは 四国メールネットワーク協同組合 (有)タウンネット 高松メールセンター 高松市朝日町4丁目10番60号 TEL.087-813-0426 FAX.087-813-0436 E-mail takamatsu@carol.ocn.ne.jp http://www.shikoku-mp.com/</p>	<p>www.sanuki-taberu.net</p> <p>株式会社 ウエイ企画 〒760-0062香川県高松市塩上町7-2 TEL:087-837-1159 FAX:087-897-3007 コーポレートサイト http://www.network-way.com</p>
<p>あいおいニッセイ同和損保代理店</p>	<p>カウネット(kaunet)代理店</p>	<p>総合印刷・イベント事業・マニュアル制作 デジタルコンテンツ企画制作</p>
<p>株フリーエージェント</p> <p>八田 和忠</p> <p>*損保・生保・社会保険労務士* 扱っています。</p> <p>高松市伏石町 2028-2 TEL 087-816-8123 FAX 087-815-1171</p>	<p>(有) 田所商店</p> <p>OA 機器・スチール製品・紙文房具等 ☆少量から承ります。</p> <p>高松市古馬場町 2-13 TEL 087-821-7515 FAX 087-821-2774</p>	<p>株式会社 高松 東京</p> <p>成光社</p> <p>〒760-0065 高松市朝日町5-14-2 TEL:087-823-0222 FAX:087-823-0211 www.seiko-sha.co.jp</p>
<p>おひとりさまの 身元保証</p> <p>オーカスタイル 家族代わりのサポート</p> <p>老人ホーム入居保証人 入院時の保証人 財産管理 緊急駆けつけ 葬儀納骨</p> <p>【ゴールセンター対応】 問合せ受付ダイヤル 〔受付9:00～19:00(土日祝日除く)〕</p> <p>0120-165-018</p> <p>司法書士の全国ネットワークがパックアップ</p> <p>一般社団法人 全国シルバーライフ保証協会 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-7-1RF-2 ロックビル 6F TEL:03-5357-1263 FAX:03-5357-1264 URL:http://sl-g.jp/</p>	<p>香川銀行は平成25年2月1日、創立70周年を迎えます。</p> <p>70 ANNIVERSARY 地域とともにこれからも。</p> <p>香川銀行 トモニホールディングス</p>	<p>消防設備士の店</p> <p>四国防災設備 有限会社</p> <p>消防設備保守点検</p> <p>〒761-0612 香川県木田郡三木町氷上1833-6番地 TEL(087)898-3913 FAX(087)898-8801</p>
<p>ご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● E-mail (電子メール) magokoro@hyper.ocn.ne.jp <ul style="list-style-type: none"> ● URL (ホームページ) http://www.jp-care.gr.jp 	<p>編 集 後 記</p> <p>本年は、豪雨・猛暑・暴風そして大寒波と、大変な一年でした。</p> <p>しかしながら、晴れた日の事務所の前の駐車場では、小鳥がドアミラーに映った自分の姿に求愛するかのように、日がな一日遊んでいます。職員は、追いやる事もせずドアミラーに残った汚れを片付けています。師走を迎へ、慌しい毎日ですが、ちょっとした和みを感じているようです。くる年が、良い年でありますよう願い、ご自愛下さいますよう。</p>	<p>四国中央医療福祉総合学院</p> <p>愛媛県四国中央市中之町1684-10 TEL(0896)24-1000 FAX(0896)24-1007</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理学療法学科(3年制) ●作業療法学科(3年制) ●言語聴覚学科(3年制) ●介護福祉学科(2年制) ★看護学科(3年制) 平成26年4月開校準備中 ●社会福祉学科(通信:1年8月) ●精神保健福祉学科(通信:9月/1年8月) ★ケアマネ試験対策講座&社会福祉士・精神保健福祉士国試対策講座・介護技術講習会受付中!! <p>詳しくは http://www.rwf.ac.jp をご覧ください。</p>

全国まごころケアネット
特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会
まごころケアサービスセンター

センターの名称	住 所	Eメール	TEL	FAX
本 部	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-815-0771	087-815-0773
まごころケア旭川	〒070-0037 北海道旭川市7条通8丁目セントラル7条ビル202号室	magokolo@tmt.ne.jp	0166-26-8639	0166-74-3172
まごころケア塩釜	〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町39-2	jmss@cocoa.ocn.ne.jp	022-362-2030	022-362-3303
まごころケア仙台 はなまる広場	〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷3丁目4-11	finamo_1_s@yahoo.co.jp	022-253-2627	022-253-2627
まごころケアサービス 福島センター	〒960-2262 福島県福島市在庭坂宇南林60-2	magokoro@safins.ne.jp	024-573-7539	024-591-5441
まごころケアサービス しみずセンター	〒960-8253 福島県福島市泉字清水内3		024-557-3380	024-557-3380
まごころケアサービス 二本松センター	〒964-0903 福島県二本松市根崎1-9	kuwabara.masaaki@ivory.plala.or.jp	0243-22-0112	0243-22-0112
まごころケア国見	〒969-1761 福島県伊達郡国見町大字藤田字南54-2	magokoro923@yahoo.co.jp	024-585-5923	024-585-5924
まごころケア千葉	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-23-15 グランドウール第2 107号		043-274-9711	043-274-9718
まごころケアひまわり	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1丁目21-21		043-275-1872	043-275-1872
まごころケア横芝	〒289-1738 千葉県山武郡横芝光町鳥喰上2283		0479-82-1762	0479-82-1835
まごころケア桑員	〒511-0233 三重県員弁郡東員町城山3-7-8		0594-76-8734	0594-76-8734
まごころケア京田辺	〒610-0331 京都府京田辺市田辺北川144番地	sqkg13630@leto.eonet.ne.jp	0774-64-3722	0774-64-3722
まごころケア神戸 なんきんまめ	〒651-2311 兵庫県神戸市西区神出町東1188-348	nankinmame@gol.com	078-965-3424	078-965-3428
まごころケア加古川	〒675-0062 兵庫県加古川市加古川町美乃利409-28	tera1954-masa@beige.plala.or.jp	0794-24-9150	0794-24-9150
まごころサービス 岡山センター	〒703-8232 岡山県岡山市関19番地1	magokoronowa@mx4.et.tiki.ne.jp	086-278-2926	086-278-2966
まごころサービス 倉敷センター	〒706-0001 岡山県玉野市田井3-12-18	rappyon@h9.dion.ne.jp	0863-31-6640	0863-31-5110
まごころケア高松	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-865-8001	087-865-8039
まごころケア国分寺	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分1284-1	ajisai@eagle.ocn.ne.jp	087-874-6625	087-874-6685
まごころケアにこにこ三豊	〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬1883-1	nikoniko-mitoyo@shirt.ocn.ne.jp	0875-73-6750	0875-73-6751
まごころケア丸亀	〒765-0032 香川県善通寺市原田町1317-7	tyusan.n-377-p4376-o@wing.ocn.ne.jp	0877-64-0278	0877-64-0279
まごころケア屋島やすらぎ	〒761-0111 香川県高松市屋島東町1414	mailka1584yasuragi@swan.ocn.ne.jp	087-843-9590	087-841-3853
まごころケアはぴねす・ まんのう	〒766-0021 香川県仲多度郡まんのう町大字四條615-4		0877-75-4322	0877-75-4343
まごころケアサービス 大川センター	〒761-0904 香川県さぬき市大川町田面1198	okawa@samariya.or.jp	0879-43-3191	0879-23-2712
まごころサービス 徳島センター	〒770-0923 徳島県徳島市大道3丁目22-1	magokoro@coral.plala.jp	088-624-6578	088-624-6585
まごころケア ぱっかぽか川之江	〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町1660-1	tani280610@yahoo.co.jp	0896-56-2623	0896-56-2623

「日本ケアシステム協会」会報

平成25年12月20日 発行No.126

発 行 所 〒761-8052 高松市松並町802番地1
 TEL 087-815-0771 FAX 087-815-0773
 編集発行人 兼間 道子
 郵 便 振 替 口座番号 01610-0-92689
 印 刷 所 (株)成光社